

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日	2月 ~23日	3月 ~1日	3月 ~8日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3	9	12	18	16	8	10	12	6	8
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0	9	9	4	7	8	9	10	8 (9)	5
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0	2	1	1	0	1	0	0	0 (1)	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0	4	2	0	4	7	4	5	2	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2	1	2	5	3	4	2	2	3 (4)	1
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0	5	3	2	3	9	2	0	3	2

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和2年第10週(3月2日~3月8日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	12	結核	12			2	1	2	1	6
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	3					2		1
		梅毒	1					1		
		百日咳	5	1				4		
指定	1	新型コロナウイルス感染症	1					1		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 龍野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症

広島市内で新型コロナウイルス感染症患者の発生が初めて報告されました。

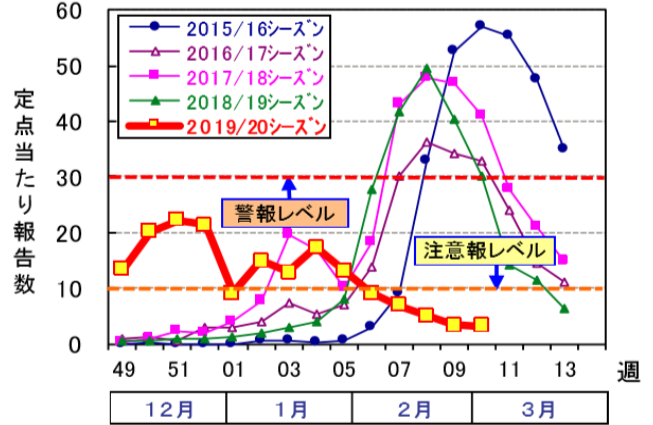
2. インフルエンザ

定点当たり3.25人の報告がありました。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるため注意が必要です。引き続き、感染予防対策を心がけましょう。

3. 百日咳

4件の報告があり、今年の累計は22件となりました。報告数が多い状況が続いており、注意が必要です。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	
小児科	インフルエンザ	117	3.25	10.11		→	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.73			
小児科	咽頭結膜熱	19	0.83	0.22		→	眼科	RSウイルス感染症	9	0.39	0.20		→	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	2.39	2.96		→		急性出血性結膜炎	-	-	0.03			
	感染性胃腸炎	79	3.43	8.90		→		流行性角結膜炎	2	0.25	0.33			
	水痘	16	0.70	0.25		↑		細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	3	0.13	0.13				無菌性髄膜炎	-	-	0.06			
	伝染性紅斑	11	0.48	0.38				基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.12		
	突発性発しん	7	0.30	0.35					クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.03					感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	1.03		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	25	女性(40歳代)、男性(70歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	6	男性(10歳未満)、男性(60歳代)
5	梅毒	1	20	女性(20歳代)
5	百日咳	4	22	男性(10歳未満)・2人、女性(10歳未満)・1人、女性(50歳代)・1人
指定	新型コロナウイルス感染症	1	1	男性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(41.9) 下痢 肝機能障害 腎機能障害 出血傾向 意識障害 ショック症状	66 男	2020/01/15	咽頭拭い液 鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	発熱(38.2) 咽頭炎 嘔吐 意識障害	3 男	2020/01/29	咽頭拭い液	ライノウイルス
急性出血性結膜炎	結膜炎 結膜出血 結膜充血 眼脂	29 男	2020/01/08	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の疾患	発熱(39.0) 紅斑 肝機能障害 黄疸 リンパ節腫脹 鼻炎	2 女	2020/01/10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載